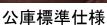
大 試 実 験

【標準仕様実大試験体(1986)】







TIP標準仕様

【高耐力仕様実大試験体(1996)】

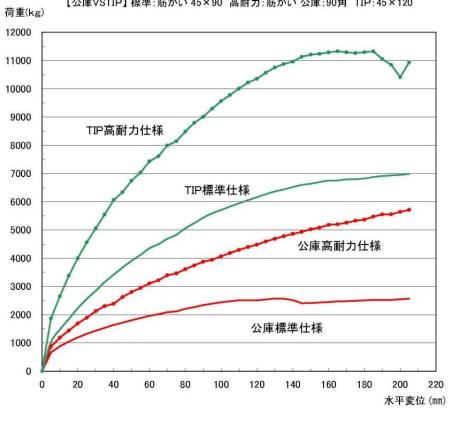




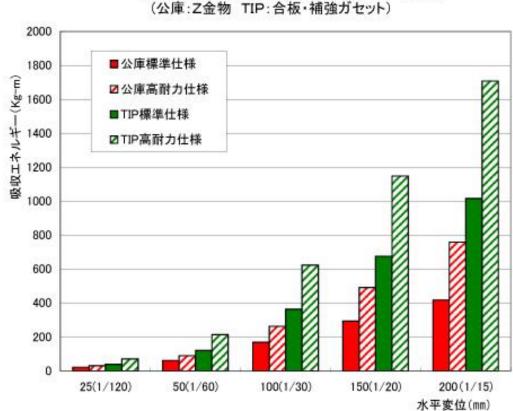


TIP高耐力仕様

標準仕様・高耐力仕様 実大試験体の荷重変位曲線 【公庫VSTIP】標準:筋かい 45×90 高耐力:筋かい 公庫:90角 TIP:45×120



四つの実大試験体の吸収エネルギー比較



TIP構法の新技術と効果

- 軸組の交点及び筋かいの接合に補強ガセットプレートを使用するので、 トラス構造とラーメン構造を併用することとなり、耐震性能が著しく増大します。
- 筋かい端部を補強ガセットプレートと釘で接合し、釘のせん断耐力で力を伝えるので 圧縮にも引張にも利く筋かいになります。
- 筋かい端部にクリアランスを設けるので、大地震による筋かいの折損及び 筋かいによる柱の引き抜き・横架材の突き上げが緩和されます。
- 下地板を斜め45度に張るので、耐震性能が増大するほか復元性が大きいので、 地震後、元の状態に戻り易くなります。また、斜め張りは横揺れの他に縦揺れに対しても有効です。
- TIP構法は上記の総合効果により、想定をはるかに上回る「強度」と「粘り強さ」があります。



TIP構法は・・・

1 ゆれにくい



(剛性)

剛性が大きい家、すなわち変形のしにくい家となるので、 地震のとき、家の揺れが少なくなります。

2 こわれにくい (強度)



家としての強度が大きくなるので、 地震や台風にも倒れにくくなります。

3 ねばりづよい (物性) 資生



大きな変形を受けても、いつまでも倒壊しない 粘り強さがあります。

4 傾きにくい (復元性)



地震で横揺れを受けても、 地震が終わった後は、元の状態にもどります。

5 直しやすい



大きな地震などで被害を受けることがあっても 小さな被害で済み、修理が容易です。



構造体の全景



柱脚部ガセットプレート



ガセットプレート施工 (型板使用)



筋かい端部のクリアランス